

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市有馬・野川生涯学習支援施設	評価対象年度	平成30年度
事業者名	事業者名 アクティオ株式会社 代表取締役 淡野 文孝 住 所 東京都目黒区東山1-5-4	評価者	生涯学習支援課長
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日	所管課	宮前区役所生涯学習支援課

2. 事業実績

利用実績	平成30年度 利用実績 ()内は29年度						地域図書貸出冊数 H30年度 97,174冊 H29年度 101,653冊 H28年度 104,812冊																																																	
		集会室(有料)	和室・実習室・料理室(有料)	学習室(有料)	グループ室	フリースペース・ギャラリー																																																		
	利用人数(人)	24,555(25,268)	14,300(13,363)	22,734(22,288)	6,820(5,812)	8,051(8,332)	市立図書受け渡し冊数 H30年度 32,049冊 H29年度 33,522冊 H28年度 31,023冊																																																	
	利用件数(件)	906(909)	1,582(1,432)	1,808(1,838)	1,160(1,052)	963(863)																																																		
	利用率(%)	87.0%(87.3%)	50.7%(45.8%)	57.9%(58.8%)	41.8%(37.9%)	69.4%(62.2%)																																																		
	来館者総数	H30 118,088人	H29 119,247人	増減 1.0%減																																																				
収支実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>収入の部 科目</th> <th>予算額 (①)</th> <th>決算額 (②)</th> <th>増減額(②-①)</th> <th colspan="3">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定管理委託料</td> <td>41,596,000</td> <td>41,596,000</td> <td>0</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>利用料金収入</td> <td>5,500,000</td> <td>5,436,730</td> <td>△ 63,270</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>その他収入(受講料)</td> <td>4,300,000</td> <td>4,641,500</td> <td>341,500</td> <td colspan="3">講座数増加</td> </tr> <tr> <td>自主事業売上充当</td> <td>200,000</td> <td>169,420</td> <td>△ 30,580</td> <td colspan="3">音楽コンサート収益</td> </tr> <tr> <td>雑収入(印刷・自販機収入)</td> <td>800,000</td> <td>840,638</td> <td>40,638</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>52,396,000</td> <td>52,684,288</td> <td>288,288</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>							収入の部 科目	予算額 (①)	決算額 (②)	増減額(②-①)	摘要			指定管理委託料	41,596,000	41,596,000	0				利用料金収入	5,500,000	5,436,730	△ 63,270				その他収入(受講料)	4,300,000	4,641,500	341,500	講座数増加			自主事業売上充当	200,000	169,420	△ 30,580	音楽コンサート収益			雑収入(印刷・自販機収入)	800,000	840,638	40,638				合計	52,396,000	52,684,288	288,288			
	収入の部 科目	予算額 (①)	決算額 (②)	増減額(②-①)	摘要																																																			
指定管理委託料	41,596,000	41,596,000	0																																																					
利用料金収入	5,500,000	5,436,730	△ 63,270																																																					
その他収入(受講料)	4,300,000	4,641,500	341,500	講座数増加																																																				
自主事業売上充当	200,000	169,420	△ 30,580	音楽コンサート収益																																																				
雑収入(印刷・自販機収入)	800,000	840,638	40,638																																																					
合計	52,396,000	52,684,288	288,288																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支出の部 科目</th> <th>予算額 (①)</th> <th>決算額 (②)</th> <th>増減額(②-①)</th> <th>主な内訳予算</th> <th>予算額</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">運営管理費</td> <td rowspan="6">52,396,000</td> <td rowspan="6">52,684,288</td> <td rowspan="6">288,288</td> <td>人件費</td> <td>26,700,000</td> <td>26,291,978</td> </tr> <tr> <td>諸謝金</td> <td>3,600,000</td> <td>3,747,934</td> </tr> <tr> <td>消耗品・図書等</td> <td>1,850,000</td> <td>1,908,835</td> </tr> <tr> <td>委託費</td> <td>6,900,000</td> <td>6,699,795</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td>3,400,000</td> <td>3,658,124</td> </tr> <tr> <td>租税公課</td> <td>2,000,000</td> <td>1,961,700</td> </tr> </tbody> </table>							支出の部 科目	予算額 (①)	決算額 (②)	増減額(②-①)	主な内訳予算	予算額	決算額	運営管理費	52,396,000	52,684,288	288,288	人件費	26,700,000	26,291,978	諸謝金	3,600,000	3,747,934	消耗品・図書等	1,850,000	1,908,835	委託費	6,900,000	6,699,795	光熱水費	3,400,000	3,658,124	租税公課	2,000,000	1,961,700																				
支出の部 科目	予算額 (①)	決算額 (②)	増減額(②-①)	主な内訳予算	予算額	決算額																																																		
運営管理費	52,396,000	52,684,288	288,288	人件費	26,700,000	26,291,978																																																		
				諸謝金	3,600,000	3,747,934																																																		
				消耗品・図書等	1,850,000	1,908,835																																																		
				委託費	6,900,000	6,699,795																																																		
				光熱水費	3,400,000	3,658,124																																																		
				租税公課	2,000,000	1,961,700																																																		
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●図書室に、3月にクラウド型図書システムを導入し、蔵書の検索を容易にした。 ●63事業から70事業に拡大(うち10事業が新規)し、新鮮味を出した。 ●入館時間を8時50分に繰り上げ、暑さ寒さ対策を行った。 																																																							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、生涯学習支援施設としての役割や目的を果しているか。	5	3	3
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	4	4
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	3	3
	利用者満足度	利用者満足度調査を実施し、調査結果を踏まえた満足度向上のための具体的な取り組みが行われているか。	5	4	4
		(評価の理由) 【基本方針】 各種会議の参加や、アンケート等による市民ニーズを反映させ、施設の設置目的に則した公平公正な運営と利用者サービスを実施している。 【事業成果】 年間事業数を63事業から70事業に増加(うち新規10事業)させたことにより、参加者が2,158人増(前年比12.1%増)となった。読書支援では、地域の小学校等に図書カード作成キャンペーンを実施し、新規利用者の獲得に力を入れ、活性化を図っている。3月にクラウド型図書システムを導入し、アーノ蔵書がインターネットを通じて検索することが可能となり、市民サービスの向上が図られた。29年度から実施している「子ども食堂」は、食材提供者の広がりや、ボランティアの継続、参加者の入れ替わり等、ネットワークが広がった。またボランティアが講座・教室に参加する等、輪が広がった。 【利用促進】 利用促進に向けた広報及び情報提供については、市政だより、タウンニュース、日刊紙の川崎版等を利用し、主要な催しである、夏休み子どもフェスタ、アーノフェスタや、年6回実施している音楽コンサート等について、開催情報や出演者のインタビュー記事を掲載したほか、毎月発行しているアーノニュースや、アーノの壁面を利用した広報物掲示などの工夫を行った。トイレ、授乳、オムツ替えだけでも気軽に利用できるポスターを掲示し、貸館、図書利用者以外の取り込みを強化している。課題目標であった「調理室の利用率30%以上」の達成は、子ども食堂の充実と、それに伴う波及効果により32.9%の実績となった。地域的に利用者が少ない野川地区について、町会から推薦されたアーティストによる音楽コンサートを実施し、地域住民の取り込みを図っている。 【利用者満足度】 2月に利用者へのアンケート調査を実施し、「是非利用したいし、他人にも教えたい」と、「是非利用したい」を合わせた率が85%と高い評価を得ている。朝の入館時間を8時50分とし、館外での待ち時間を少なくし、暑さ寒さ対策とした。また毎月開催の市民活動支援センター運営委員会に参加し、利用者の情報収集に努めている。			
管理業務の実施状況	維持管理等の委託	施設利用提供に支障をきたすことの無いよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3	3
	人員配置	円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	4	4
	人材育成	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	3	3
	危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	3	3
管理業務の実施状況	(評価の理由) 【維持管理等の委託】 施設の維持管理は建物総合管理業務委託により、日常点検、休館日の重点的な機器設備等の点検を実施している。保守点検時やイベント終了後の特別清掃時に職員が立会い、機材のチェック等、状況に応じ迅速かつ適切に対応している。また、月例報告の実施により、施設の管理状況を時機を逸することなく的確に把握できている。 【個人情報保護や情報公開】 指定管理者であるアクティオ株式会社が「プライバシーマーク」を取得している。それに基づき、教育研修活動が行われ、アクティオ本社の監査を受けている。日頃から川崎市個人情報保護条例を始めとする個人情報保護に係る法令の遵守に努めており、個人情報に関する漏洩や紛失等の事案は発生しなかった。 【人員配置】 事業や行事の実施状況及び利用者のピークの時間帯等に合せた勤務体制とした。また、職員教育の実施や情報共有等により、職員一人ひとりが施設内の多種業務をこなせる体制をとり、効率的で効果的な業務執行がなされている。図書司書有資格者を採用し、図書業務を強化した。 【人材育成】 管理運営体制の強化と接遇体制の向上に向けた職員向け研修会の企画・実施や、行政の主催によるものを含めた各種関連会議等への積極的な参加・出席により情報収集を行い、これらで得られた知識を職員同士で情報共有するなど、職務遂行に活かせるよう努めた。 【危機管理】 消防法に基づく消防訓練を、年度内に2回実施し、避難経路、消火器設置位置等の確認による災害対策を実施した。防犯対策として防犯グッズを設置し、利用者等が安全・安心に施設利用できるようにした。台風上陸や悪天候・降雪の場合は、事前に対策を行い、トラブル等は発生していない。				

事業実施状況	施設利用提供業務	生涯学習振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	4	4
	生涯学習支援事業	生涯学習支援を図るための学習教室やイベント等事業を実施しているか。	5	4	4
	指導者・ボランティアの育成	地域学習指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	4	4
	活動団体等との連携事業	地域活動団体や他施設と連携して魅力ある事業を展開しているか。	5	4	4
	市民活動促進業務	市民活動への参加促進に向けて活動団体の情報収集・提供を行うとともに、市民活動に関する相談体制の充実を図っているか。	5	4	4
	市民活動支援体制	市民活動支援コーナーの適正利用に向け、利用団体間で意見調整を行い、市民活動支援を図っているか。	5	3	3
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	4	4
	広報活動	施設利用促進及び生涯学習振興を図るための広報活動が成されているか。	5	4	4
		<p>(評価の理由)</p> <p>【施設利用提供業務】 常に利用者目線を意識した心地よい接遇に心掛け、リピーター利用者やマルチ利用者の増加に繋がった。市民サービス向上により、有料貸出利用率、無料貸出利用率ともに7年連続のアップとなった。</p> <p>【生涯学習支援業務】 多世代(幼児から高齢者まで)を対象とする生涯学習支援事業について、利用者の要望、意見等を踏まえながら、子育て、健康、趣味、教養など多岐にわたる内容で、教室、講座、イベントなどの多様な方法により実施した。図書室については、新システム導入のため休館した影響もあり減少したが、クラウド型図書システムを導入しサービスの向上を図った。</p> <p>【指導者・ボランティアの育成】 指導者の育成は、市民活動支援事業11事業、協力事業6事業を通じて実践した。目玉事業でもある「こども食堂」のボランティアも2年目に入り、リーダー的存在が確立されるなど成果を出している。育成、実施、継続という、一連の流れが事業自体の成功に貢献している。ボランティアに対して若干の謝礼を渡すことで安定確保を図っている。</p> <p>【活動団体等との連携事業】 地域の活動団体と連携したイベント等を通じて、町内会・自治会及び学校等との協力関係のもと、団体の活動の場の広がりや、コラボレーション活動を行うなど積極的な対応が行われた。また、市、区との連携事業の開催や、学校と地域を結ぶ環境問題を推進することで、新たな利用者の拡大に繋がっている。</p> <p>【市民活動促進業務】 市民活動を促進させるため、協力事業により団体及び個人へのサポートや情報提供を実施した。アリーノ主催事業においても地域の方が地域のために実施する地域貢献の事業を実施し、団体・個人の活動の活性化に繋がった。</p> <p>【市民活動支援体制】 市民活動支援コーナー運営委員会の事務局として、情報交換に努めた。市民活動支援コーナー登録団体への印刷代行サービスも定着し、各団体の資料作成に貢献して。市民活動ふれあいフェアの共催実施や、「ほっこりカフェ」の開催サポートにより、地域交流とフリースペースの活性化に繋げ、市民活動を支援した。</p> <p>【自主事業に関する事項】 地元に関係するアーティストの出演など、地域と連携したアリーノ音楽コンサートを企画・開催し、音楽による地域交流に貢献した。「東日本大震災復興支援チャリティーイベント」と「アリーノフェスタ」を通じて東日本大震災復興支援義援金活動を継続実施し、社会貢献をした。</p> <p>【広報活動】 施設紹介や企画・イベント情報などについて、各種広報媒体を活用して積極的に広報活動を行った。毎月発行のアリーノニュースでは、多世代の人たちにも、情報が的確に伝わるよう楽しく読みやすい紙面構成を心がけた。ホームページについては、常に新しい情報の掲載に努め、ホームページを見ての利用者が増えてきている。</p>			
収支状況	収支計画	収支計画に基づく安定した運営を行っているか。	5	4	4
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	4	4
	適切な金銭管理・会計手続き	収入と預かり金等を区別した管理を行うとともに、事業収支に関して適正な会計処理が行われているか。	5	3	3
		<p>(評価の理由)</p> <p>【収支計画】 利用料金収入、主催事業の受講料、印刷収入、自販機収入が前年に比べ増加した。各種事業について、広報、効率化、自主事業を増やす等の努力をした結果、指定管理料を除く収入が前年比5.5%アップという結果は各部門の積み重ねの成果である。</p> <p>【効率性】 最低賃金の上昇に伴う人件費の上昇について、若手職員の登用や効率的なシフト体制を執ることで人件費抑制に努めた。猛暑による光熱水費、及び事業増加による経費増に対して、節電、節水を心がけ、また委託費、賃借料を削減することで、効率的な財務運営を行った。</p> <p>【適切な金銭管理・会計手続き】 本社の経理マニュアルに従い、出納責任者に館長、出納担当者に職員を任命し、毎月の会計処理に関する確認を行い、12月と3月の2回において適正な決算報告と監査を実施した。また、レジは1日3回のチェックをし、閉館後に伝票と照合し、売上日計表を作成、金庫は警備会社と遠隔管理システムと連動させるなど、適切な管理体制・処理を行った。</p>			

4. その他加点

分類	項目	着眼点			評価点
その他加点	市の政策課題への取組	健康福祉局が主催する「学習支援・居場所づくり事業への協力			4
		<p>(評価の理由)</p> <p>健康福祉局が進めている「学習支援・子どもの居場所づくり事業」に協力し、生活保護を受けている家庭の中学生を対象として学習場所の提供を平成29年度から実施している。事業実施にあたっては、プライバシーの保護に留意するとともに、運営団体への協力を積極的に努めた。また、場所の提供にあたっては、無料提供としており、市の政策課題に貢献する姿勢が評価できる。</p>			

5. 総合評価

評価点合計	76 / 105	評価ランク	B
-------	----------	-------	---

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>施設の設置目的である「市民の主体的な学習活動の支援、生涯学習の振興を図り、活力に満ちた地域社会の構築に寄与する」という役割を十分に理解し、公平・公正な運営と利用者サービスを実施している。民間のノウハウを活用し、効果的、効率的な館運営を心掛け、多様化する市民ニーズに迅速、的確に対応している。指定管理7年目となり、これまで行ってきた事業、取組が外部からも評価されている。</p>

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>●来館者総数が2年連続して減少している。利用者ニーズの把握、利用者の地域的な広がりによる利用者の増加に繋がってほしい。野川地区町内会への働きかけや、3月に導入した図書室の新システム、司書有資格者の配置等、利用者拡大の取組も開始しており、これらの効果に期待する。</p> <p>●「子ども食堂」を継続実施していくために必要なボランティアについては、引き続きボランティアの安定確保に努め、職員やボランティアに過度の負担とならないよう取り組んでほしい。</p> <p>●野川・有馬地区のコミュニティの重要な拠点として、地域の人達が安心して利用出来るよう防災対策を引き続き適切に行うとともに、将来の超高齢化社会も見据えた戦略的な市民活動の活性化にも配慮してほしい。</p>
